

千葉県子どもの読書活動推進計画（第四次）の概要

< 計画期間 > 令和2年度からおおむね5か年

1. 計画の趣旨

子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で、欠くことのできないものである。
「子どもの読書活動の推進に関する法律」より

「子どもの読書活動の推進に関する法律」施行後の国の動向を踏まえ、第三次計画期間中における成果と課題、子どもを取り巻く読書環境の変化等を把握し、本県の子どもの読書活動を一層推進するために、第三次計画を改定し、今後の施策の基本的方針と具体的方策を定める「千葉県子どもの読書活動推進計画（第四次）」を策定します。

2. 計画の性格 (1) 子どもの読書活動を全県的に推進するための手引き
(2) 「読書県『ちば』」を目指す設計図

3. 基本理念

すべての子どもが、本に親しみながら成長していくための「読書県『ちば』」の推進
～子どもと本をつなぐ・子どもの本でつながる読書活動の推進～

4. 基本方針

- (1) 社会全体における子どもの読書活動への関心を高める取組の推進
(2) 読書環境の整備と連携体制の構築

5. 主な取組と指標(右表参照)

社会全体における子どもの読書活動への関心を高める取組の推進
 (1) 家庭における発達段階に応じた取組
 ・家読の推進 ・セカンドブック事業への参加
 (2) 地域における発達段階に応じた取組
 ・公立図書館等の行事、サービス
 (3) 学校等における発達段階に応じた取組
 ・児童生徒が相互に図書を紹介する活動
 (4) 情勢の変化への対応
 ・子どもと本をつなぐ新しいきっかけ

読書環境の整備と連携体制の構築
 (1) 環境整備
 ・本に親しめる場の充実 ・読書バリアフリー
 (2) 家庭、地域、学校等の連携
 ・「主体的・対話的で深い学び」の実現
 (3) 普及・啓発活動
 ・リーフレットの作成、配布 ・研修会
 (4) 子どもの読書活動推進体制の整備
 ・市町村推進計画策定 ・計画の進行管理

目 標	評 価 指 標	現 状 (H30)		目 標 (R6)
関心を高める 子どもの読書への	①読書の好きな子どもの割合	小6 ^{※1}	75.7%	80%
		中3 ^{※1}	71.2%	80%
		高2 ^{※2}	73.1%	80%
	②不読率(1か月に1冊も本を読まない児童・生徒)の割合	小6	18.0%	8%
		中3	29.1%	20%
		高2 ^{※2}	45.9%	35%
環境整備と連携体制の構築を進める	③市町村子どもの読書活動推進計画策定率	市	89.1%	100%
		町村	29.4%	88%
	④セカンドブック事業を行っている市町村の割合	16.6%		50%
	⑤優秀・優良学校図書館の学校の割合	優 小	44.8%	65%
		秀 中	30.7%	45%
		優 小	93.1%	100%
	良 中	80.7%	95%	
		⑥公立図書館と連携している学校の割合	74.7%	
	⑦市町村立図書館等におけるボランティアの登録者数	2,817人		3,300人
⑧ボランティアと連携・協力している学校の割合	61.5%		68%	
⑨公立図書館あるいは教育委員会が加わり、学校関係者と子どもの読書活動の推進について協議する機会がある市町村の割合 ^{※2}	46.3%		60%	

第四次計画から取り入れた評価指数

- ④セカンドブック事業（ブックスタート事業実施率100%達成のため）
 ⑤優秀・優良学校図書館※毎年調査（第三次計画指標としていた学校図書館図書標準が5年おきの調査に変更したため）

①②③文部科学省調査 ④⑥⑦⑧千葉県社会教育調査
 ⑤千葉県学習指導課調査 ⑨千葉県生涯学習課調査（①②の高2を含む）
 ※1 全国学力・学習状況調査（平成31年度調査）
 ※2 千葉県生涯学習課調査（平成29年度調査）

6. 具体的な取組(取組事例)

発達段階別アプローチ

※下線…第四次計画 新たな取組

	社会全体における子どもの読書への関心を高める取組の推進				読書環境の整備 連携体制の構築
	乳幼児期 「本に出会う」	小学生期 「本に親しむ」	中学生期 「本から学ぶ」	高校生期 「本と歩む」	
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせをする(絵本、物語) ブックスタート事業 セカンドブック事業に参加する 図書館、公民館等のイベントに参加する 	<ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせをする 子どもの音読を聴く 家族読書タイムをつくる 感想を話し合う 子どもと一緒に図書館に本を借りに行く 好みの本を探す 	<ul style="list-style-type: none"> 感動した本や印象に残っている本の話をする 読書体験を語る 本の内容を語り合う、本を紹介し合う 図書館等の利用を促す 読書施設の紹介をする 将来の夢や就職について気になる分野や職業についての情報収集を一緒にする、図書館で調べてみるようにすすめる 	<ul style="list-style-type: none"> 読書活動の大切さについての理解 読み聞かせ、子どもの音読を聴く、読書について語り合う機会と時間の確保 	
地域	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 公立図書館(県立図書館、市町村立図書館、公民館図書室)における取組 </div> <ul style="list-style-type: none"> 乳幼児向けおはなし会 乳幼児向けコーナー おすすめ絵本の紹介 子ども向け事業(ぬいぐるみお泊り会等) 				<ul style="list-style-type: none"> 図書館、公民館図書室、児童館等の整備 情報化の推進 子どもの利用のためのスペース確保 運営状況に関する評価 読書バリアフリー推進 「子どもの読書活動推進センター」の活動 子どものための郷土資料の充実と情報発信
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 生涯学習センター、ボランティア団体、民間団体、民間企業における取組 </div>				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 地域文庫・家庭文庫での読書 </div>				
学校等	<ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせ(絵本、物語) 絵本や物語を読み、絵をかいたり、演じたりする活動 ボランティアや児童生徒による読み聞かせ 図鑑を見る活動 	<ul style="list-style-type: none"> 全校をあげての読書活動 様々な交流による読み聞かせ 推薦図書コーナーの設置 卒業までに一定量の読書を推奨するなどの目標設定 子どもが相互に図書を紹介し、様々な分野の図書に触れる活動 ビブリオバトル、読書会、ポップづくり、ブックトーク、アニメーション、ストーリーテリング 図書館資料を活用した授業の展開 図書委員、子ども司書(ジュニア司書)等の活動 	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> 学習指導要領を踏まえた読書活動 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園、保育所等における環境整備 魅力ある学校図書館づくり 人的体制の整備 学校図書館自己評価 読書バリアフリー推進 推薦図書コーナー設置 	
市町村行政	<ul style="list-style-type: none"> ブックスタート事業の実施 セカンドブック事業の実施 地域の実態に応じた子どもの読書への関心を高める取組 	<ul style="list-style-type: none"> 市町村子どもの読書活動推進計画策定 図書館あるいは教育委員会が加わり、学校関係者と子どもの読書活動について協議する機会の設置 検診や親子で参加する行事での啓発 子育て支援事業における啓発 「子ども読書の日」「こどもの読書週間」等における啓発 			
県行政	<ul style="list-style-type: none"> 子ども読書の集いの実施 ビブリオバトル大会の実施 情勢の変化への対応(情報モラル教育の充実、子どもと本をつなぐ新しいきっかけづくりの推進) ※タブレット端末・インターネット活用、電子図書館を利用した読書 	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館と公立図書館、行政等の連携を図るための研修会の実施 ※地域の課題に応じた研修会の実施 千葉県子どもの読書活動推進計画の点検・評価、進行管理 子どもの読書活動啓発リーフレットの作成・配布 「子ども読書の日」「こどもの読書週間」等における啓発 公立義務諸学校及び県立学校への人的配置 			

家庭・地域・学校等・行政の連携

※学校等…幼稚園、保育所、認定こども園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、義務教育学校

※セカンドブック事業…3歳から小学校入学前の子どもを対象とした読書への関心を高める取組

千葉県子どもの読書推進計画(第四次)の特色は

『発達段階別アプローチ』と『環境整備・連携』

第四次計画
新たな取組

- セカンドブック事業
- タブレット端末・インターネット活用、電子図書館を利用した読書
- 読みやすさやバリアフリーに配慮した環境整備(読書バリアフリー)
- ビブリオバトル大会、地域の課題に応じた研修会の実施



千葉県マスコットキャラクター
チーパくん



「読書県『ちば』」



すべての子どもが、本に親しみながら成長していくための「読書県『ちば』」の推進
～子どもと本をつなぐ・子どもと本でつながる読書活動の推進～

社会全体

子どもと本を
つなぐ

社会全体における子どもの読書への関心を高める取組の推進
読書環境の整備と連携体制の構築

人と人が

子どもの本で
つながる

社会全体

読書環境の整備

市町村行政

家庭

県行政

連携

地域

学校等

読書への関心を高める取組

子どもと本を
つなぐ

発達段階別アプローチ

乳幼児

小学生

中学生

高校生

すべての子ども

人生を
より深く豊かに生きる

本に
親しみながら

成長

人生をより深く豊かに生きる力

コミュニケーション能力

読む力・書く力・話す力・聞く力

想像力・創造力

知識・思考力・判断力・表現力

問題解決力・情報活用能力

本で
つながる

大人

本で
つながる

大人

大人の知識・情報・技能・思い等

★「千葉県子ども読書活動推進計画(第四次)」は、千葉県教育委員会ホームページ (<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/>)

※詳しくは

ちば 読書 推進計画

検索

【お問い合わせ先】千葉県教育庁教育振興部生涯学習課 TEL : 043-223-4071 FAX : 043-222-3565

千葉県子どもの読書活動推進計画（第四次）

すべての子どもが、本に親しみながら成長していくための「読書県『ちば』」の推進
～子どもと本をつなぐ・子どもと本でつながる読書活動の推進～



千葉県マスコットキャラクター
チーバくん

～子どもと本をつなぐ・子どもの本でつながる読書活動の推進～

読書は、子どもが人生をより深く豊かに生きるために不可欠なものです。読書習慣を身に付けるためには、子どもが本の楽しさや魅力を感じることができる機会の充実が必要です。本に触れるきっかけがあり、手を伸ばすと好きな本や調べたい本がある。「子どもと本をつなぐ」取組や読書環境が本好きの子どもを育てます。

また、社会には、読書の大切さを知り、子どもの健やかな成長を願う人が多くいます。その人々が持っている知識・情報・技能・思い等は多様です。そうした大人同士や大人と子どもが読書活動でつながる、すなわち、「子どもの本でつながる」ことで生まれる効果は、計り知れません。

この千葉県子どもの読書活動推進計画（第四次）は、子どもの読書活動を全県的に推進するための手引きであり、基本方針や具体的な取組を示したものです。

読書が好きな子どもがさらに増えることを願い、すべての子どもが、本に親しみながら成長していくための「読書県『ちば』」の推進を基本理念に掲げ、県民のみならずと共に子どもの読書活動を推進していきます。

令和2年2月
千葉県教育委員会